

2017

Vol.25 No.1-2

社会情報 目次

巻頭言 — 紀要特集号発刊に当たって — 田中 一 1

社会情報学部の教育を振り返って

社会情報学部カリキュラムの変遷からみる社会情報学の展開と教育 (追補版)	高田 洋	7
ノートパソコンを活用した教育を振り返って	森田 彦	16
社会情報学部におけるノートパソコン必携化の取り組みとその後の展開	佐藤 友暁	24
情報技術教育を振り返って — 先進的な情報教育を目指して —	小池 英勝	30
SA を活用した教育を振り返って	森田 彦	40
プログラミング教育を振り返って	森田 彦	48
ミニ FM 局 “FM ペポワ” による教育実践顛末記	小内 純子	57
札幌学院大学における障がいのある学生支援の取り組み — バリアフリー委員会の成果 —	新國三千代	62
社会情報学部における高大連携の取り組み	皆川 雅章	79

社会調査教育を振り返って

社会調査教育の概要	小内 純子	87
I. 開設年度から 2000 年度入学生までの社会調査教育	小内 純子	90
II. 調査演習 (2003~2015): 質的調査演習を振り返って	石井 和平	92
III. 調査演習 (2003~2015): 量的調査演習を振り返って	高田 洋	95
シンポジウム 『SGU 調査系科目の現状と課題 — 課題の共有と発見に向けて —』 企画のねらい	大國 充彦	98
第 1 報告 経営学部における調査系科目展開の一事例 ~商学調査実習から地域貢献プロジェクト実践へ~	山本 純	100
第 2 報告 地域経済分析とフィールドワーク — 大学が求められる地域貢献とは? —	佐々木 達	114
第 3 報告 学生による社会調査の現状と課題 — 置戸町「フィールドワーク」について —	木戸 功	123
第 4 報告 社会情報学部『量的調査設計・量的調査演習』の現状と課題 — 仮説検証型による探索的な社会理解 —	高田 洋	131
コメント	太田 清澄	140

SORD 事業を振り返って

はじめに	大國 充彦	159
I. 立ち上げ期 (1991~2000) : 構想立案・事業立ち上げから継続事業化に向けて	新國三千代	160
II. 展開期 (2001~2010) : 北海道に根ざしたデータアーカイブへの模索	中澤 秀雄	168
III. 収束期 (2011~現在) : リージョナル・データアーカイブの課題	大國 充彦	180

社会情報学部での研究を振り返って

道具としての言語=言語としての道具：もう一つのサマリートーク	是永 論	185
社会情報学部において自然史学の確立を目指した短いライフストーリー	小出 良幸	194
社会情報学部に 21 年間に在職して今思うこと	井上 芳保	220
まちづくりのランドデザイン=知と地の拠点として機能する大学	太田 清澄	232
社会情報学から社会進化学へ	斉藤たつき	241
私が経験した社会情報学	祐成 保志	249

社会情報学研究の展開

社会情報学の〈未来〉	伊藤 守	257
社会情報解析再考 ——「概念・価値・論理」三題嚙——	長田 博泰	260
オープンメディアのランドスケープ ——メディアの境界が融解する時代の視座を求めて——	高橋 徹	278

社会情報学部の思い出

随想 社会情報学部での 3 年間	秋山 雅彦	289
社会情報学部前史	林 善之	293
‘世界’の進化過程に於ける情報科学の位置	佐藤 将博	297
「社会情報学部」を想う	原田 融	300

編集後記

森田 彦	305
------	-----